

貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	232,119	流動負債	815,884
現金及び預金	231,943	短期借入金	700,400
前払費用	175	未払金	948
その他の流動資産	1	未払費用	1,971
		未払消費税等	30,875
固定資産	16,822,828	未払法人税等	80,281
鉄道事業固定資産	16,759,996	預り金	368
有形固定資産	14,317,207	賞与引当金	1,039
土地	4,385,622		
建物	680,448	固定負債	9,103,500
建物附属設備	138,545	長期借入金	9,103,500
構築物	9,023,761		
機械装置	76,315	負 債 合 計	9,919,384
工具・器具・備品	12,514		
無形固定資産	2,442,789	(純資産の部)	
商標権	12	株主資本	7,135,563
電話加入権	400	資本金	8,800,000
連絡通行施設利用権	2,442,375	利益剰余金	△1,664,436
建設仮勘定	15	その他利益剰余金	△1,664,436
投資その他の資産	62,816	繰越利益剰余金	△1,664,436
長期前払費用	3		
繰延税金資産	61,849	純 資 産 合 計	7,135,563
その他の投資等	963		
資 産 合 計	17,054,947	負 債 ・ 純 資 産 合 計	17,054,947

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

自 2019年4月 1日
至 2020年3月 31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
鉄道事業営業収益		
鉄道線路使用料収入	1,457,606	
計		1,457,606
鉄道事業営業費		
一般管理費	145,749	
諸税	270,250	
減価償却費	652,976	
計		1,068,976
鉄道事業営業利益		388,629
営業外収益		
受取利息	59	
雑収入	6	
計		65
営業外費用		
支払利息	89,342	
計		89,342
経常利益		299,352
特別利益		
工事負担金等受入額	191,680	
計		191,680
特別損失		
固定資産除却損	7,936	
計		7,936
税引前当期純利益		483,096
法人税、住民税及び事業税		76,843
法人税等調整額		13,084
当期純利益		393,167

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

(単位：千円)

	株主資本			純資産 合計
	資本金	利益剰余金	株主資本 合計	
		その他利益 剰余金		
		繰越利益 剰余金		
2019年4月1日 残高	8,800,000	△2,057,604	6,742,395	6,742,395
当期中の変動額				
当期純利益		393,167	393,167	393,167
当期中の変動額合計	—	393,167	393,167	393,167
2020年3月31日 残高	8,800,000	△1,664,436	7,135,563	7,135,563

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

当社では、建物及び建物附属設備については定額法、その他の資産については定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以後に取得した構築物については、定額法を採用しております。

なお、鉄道事業固定資産の構築物のうち取替資産については、取替法を採用しております。

また、2007年3月31日以前に取得したものについては、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で均等償却する方法によっております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込み額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

(3) 消費税等の処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

① 担保に供している資産

鉄道事業固定資産（鉄道財団） 11,591,357 千円

② 担保に係る債務

短期借入金 700,400 千円

長期借入金 2,429,200 千円

計 3,129,600 千円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 10,880,173 千円

(3) 固定資産の取得原価から直接減額された工事負担金等累計額 24,714,451 千円

3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の主な発生原因別内訳は、以下の通りです。

繰延税金資産	(単位：千円)
賞与引当金	318
未払事業税	10,646
減価償却費	18,675
繰越欠損金	51,114
その他	51
繰延税金資産小計	80,805
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額	1,110
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	17,845
評価性引当額小計	18,956
繰延税金資産合計	61,849
繰延税金負債	—
繰延税金資産の純額	61,849

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の期末における発行済株式総数

普通株式 176,000 株

5. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については安全性の高い金融資産に限定し、金融機関等からの借入により資金を調達しております。

借入金の使途は運転資金及び設備投資資金であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	231,943	231,943	—
(2) 短期借入金	700,400	710,692	10,292
(3) 長期借入金	9,103,500	9,252,166	148,666

(注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(1) 現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 短期借入金、並びに (3) 長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算出する方法によっております。

6. 資産除去債務に関する注記

当社は、空港鉄道施設について「空港線の空港用地内施設使用に関する協定」等に基づく原状回復義務を有しておりますが、当該施設は当社の主たる事業の用に供することを目的とするものであることから、事業が継続する限り一定の期間をもって終了することが予想されるものでないこと、また現在のところ移転または撤去も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

7. 賃貸等不動産に関する注記

当社では、愛知県常滑市その他の地域において、賃貸用の鉄道施設（土地を含む。）を有しております。この施設の時価については、線路使用者が限定されるため一般的な市場価格が観察できないこと、取得原価から直接減額した工事負担金等受入相当額が帳簿価額に含まれない等により時価を算定することが極めて困難なため開示しておりません。

8. 関連当事者との取引に関する注記

属性	名 称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
主要株主	愛知県	32.65%	役員の兼任 資金の借入	借入金利息の支払 ※1	10,382	長期借入金	6,674,300
主要株主	名古屋鉄道株式会社	12.43%	役員の兼任 鉄道施設賃貸 債務被保証 工事負担金の受取	鉄道線路使用料受取 ※2	1,457,606	—	—
				当社銀行借入に対する債務被保証 ※3	143,600	—	—
				工事負担金の受取 ※4	191,680	—	—

(注) 取引金額には消費税等を含んでおりません。

取引条件及び取引条件の決定方針等

※1 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

※2 鉄道線路使用料は、鉄道事業法に基づき国土交通大臣の認可を得て、第二種鉄道事業者と協定を締結しております。

※3 当社は、銀行借入に対して名古屋鉄道株式会社より債務保証を受けております。

なお、当該借入契約は2004年度に締結しております。

※4 鉄道施設の更新・改修を行うに当たり、協定書に基づき工事代と同額を名古屋鉄道株式会社より工事負担金として受け入れており、当事業年度に特別利益として計上いたしました。

9. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 40,542円97銭

(2) 1株当たり当期純利益 2,233円91銭

10. 重要な後発事象に関する注記

該当する事項はありません。